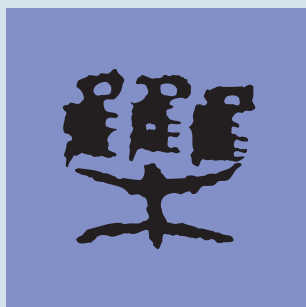




博物館ニュース「SHÛ」

NO. 64

“SHÛ” News of Tamagawa University Museum of Education

2025 年 3 月 20 日

玉川大學教育博物館



目次

展覧会への招待……………	2
報告……………	3
資料をご寄贈いただきました…………	5
開館カレンダー・利用案内……………	6

植物

ジャン・フォートリエ作
キャンバス・油彩・ミクストメディア
89.0 × 130.0cm 1963 年
藤澤武夫氏寄贈

厚塗りの白い絵具、淡い緑の彩色と屈曲する複数の条痕によって、地に芽吹く緑とそれを潤す雨を抽象的に表現しています。ジャン・フォートリエ（1898-1964）は、第2次大戦後、パリを中心におこったアンフォルメル（不定形の芸術）運動の先駆者のひとり。本作品は、フォートリエ晩年の代表作のひとつに数えられます。

展覧会への招待

2025 年度企画展

20 世紀美術のかたち - 藤澤武夫寄贈コレクション- (仮称)

藤澤武夫氏（1910-1988）は、創業社長の本田宗一郎氏とともに、主に経営面を担当する副社長として、本田技研工業株式会社を世界有数の自動車・二輪車メーカーに育てた企業家です。藤澤氏は企業経営のかたわら、多方面の芸術の熱的な愛好者として、多くの芸術家と親交を結び、ご子息の藤澤知之氏とともに、作品のコレクションをおこないました。

藤澤氏は、小原國芳（1887-1977）の創立した玉川学園の教育理念に共鳴し、子女や孫世代を学ばせ、学園の発展のために多大なる協力も惜しみませんでした。

当館所蔵のイタリアを主とする 20 世紀美術の作品群は、玉川学園・玉川大学の児童・生徒・学生たち、そして世の多くの人々に、ホンモノの芸術品に触れる機会を提供したいというお考えにもとづいて、藤澤氏からご寄贈いただいたものです。112 点にのぼるそれら作品群は、当館の芸術資料コレクションの大きな柱のひとつになっています。

当館の藤澤コレクションは、一部の主要作品を常設展示で公開してきましたが、その全容を紹介する機会はありませんでした。今回の企画展では、藤澤氏寄贈の作品群をいくつかのテーマに分けて展示し、その特色や魅力などを総合的に紹介します。重責を担う企業経営者の心を慰めたであろう芸術コレクションのなかから、藤澤氏自身が選定して玉川学園に寄贈された優品の数々を、心ゆくまでご堪能いただければ幸いです。

皆さまのお越しをお待ちしております。

◆会 期 2025年10月13日(月)
~12月21日(日)

(会期中の展示替えを予定しています)

◆開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

◆入 館 料 無料

◆会 場 玉川大学教育博物館第 2 展示室



黄色のジャケット
アドルフ・ゴットリーブ作
キャンパス・アクリル絵具 1972 年



自然の空間概念
ルーチョ・フォンタナ作
ブロンズ 20 世紀



ローマ人の会話
ピエトロ・コンサグラ作
ブロンズ 1957 年

2025 年度特別企画展

岡村康彦彫刻遺作展

東京藝術大学彫刻科を卒業し、玉川学園高等部、玉川大学文学部芸術学科の教員をつとめた岡村康彦（1932-2020）の彫刻作品約 50 点を紹介する展覧会を開催します。

◆会 期 2026年1月19日(月)~2月1日(日)

◆開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

◆入 館 料 無料

◆会 場 玉川大学教育博物館第 2 展示室

◆主 催 岡村康彦彫刻遺作展実行委員会・玉川大学教育博物館

報 告

特別展の開催

■「アイコンにであう

ーキリスト教絵画のみかたー」

玉川学園創立 95 周年記念特別展として、標記の展覧会を、2024 年 10 月 21 日から 2025 年 1 月 19 日までの期間で開催しました。



特別展 会場入口

本展は、当館が長年にわたり収集をつづけてきたアイコンのコレクションを、ひろく一般の方々にもご覧いただく機会を設けることを主旨として企画したものです。本展では、100 点あまりを数える当館のアイコン・コレクションのうち、ロシアとギリシアで制作された 16 世紀から 19 世紀までのアイコン 49 点に、静岡ハリストス正教会から寄贈を受けた、明治時代の画家山下りんのアイコン 6 点を加えた計 55 点を出品しました。



第 1 章 イエス・キリストの生涯

展示は、第 1 章「イエス・キリストの生涯」、第 2 章「聖母マリヤの姿」、第 3 章「天使・預言者・福音記者・聖人」、第 4 章「教義アイコン・祝祭アイコン」、第 5 章「アイコンを描いた日本人ー山下りんー」の 5 章で構成し、それぞれの主題や表現の特色、見どころなど

を、わかりやすく解説することで、アイコンがもつ独特の美と魅力を紹介しました。

会期中、学内外から 3,423 名の方々が来場され、アイコンとのであいを堪能されました。

本展の開催にあたり、ご指導、ご協力を賜りました方々、ご来場いただいた皆さまに、改めてあつく御礼申し上げます。



第 5 章 教義アイコン・祝祭アイコン 最後の審判

記念講演会

①「アイコンに祈るーウクライナ戦争を

キリスト教はどう考えるのかー」

②「アイコンのみかた

ー東方正教会の美術にであうー」

本展の会期中、2 回の記念講演会を、K-12 東山校舎講堂にて開催しました。11 月 30 日の①では、本学客員教授で元駐ウクライナ特命全権大使の角茂樹氏を講師に迎え、現在も続くウクライナ戦争を宗教史的な観点から解説していただきました。12 月 15 日の②では、ビザンティン美術史の研究者である明治大学商学部准教授の瀧口美香氏に、東方正教会のアイコンに特有の図像や表現について、カトリック教会（西方教会）の美術との比較をま



記念講演会① 角茂樹氏

じえながら解説していただきました。

どちらの記念講演会にも多数の方々が参加され、両氏の講演を熱心に聴講されました。



記念講演会② 瀧口美香氏

ワークショップ

「テンペラ画を描いてみよう」

12月14日、K-12 東山校舎 B101 教室において、標記のワークショップを開催しました。本ワークショップには高い関心がよせられ、申込受付開始から1時間あまりで定員に達することになりました。参加した28名は、玉川学園高等部美術科常勤講師の金子みずき氏、同中学部美術科非常勤講師の相原太恵氏



卵テンペラ絵具をつくる 金子みずき氏



金箔貼りの解説 相原太恵氏

の指導のもと、イコンの制作に用いられる卵テンペラによる着色、金箔貼りなどの技法を体験しながら、簡単な絵画制作を楽しみました。

ギャラリートーク

11月4日、12月20日、1月17日、本企画展の担当学芸員によるギャラリートークを開催しました。11月30日、1月18日には、記念講演会の講師をつとめられた角茂樹氏によるスペシャルギャラリートークも開催しました。ギャラリートークの開催にあわせて、毎回、多数の方々が来場され、イコンに描かれたモチーフや表現・技法上の特色、歴史的・文化的な背景などについての解説に、熱心に耳を傾けられました。



スペシャルギャラリートーク 角茂樹氏

特別出品

「高校生もイコンにであう」

ー玉川学園12年生（高校3年生）

が描いたイコンー

本展会期中の12月20日より、当館2階ロビーにおいて、玉川学園12年生（高校3年生）が描いたイコンを特別出品しました。このイコンは、12年生の選択授業「美術技法・



玉川学園12年生（高校3年生）が描いたイコン

平面」における取り組みとして、同美術科常勤講師の金子みずき氏の指導のもと、9月9日に実施した当館のアイコン・コレクションの鑑賞をふまえ、アイコンの制作技法を学んだうえで、約3カ月をかけて完成させたものです。

現代の鳥獣戯画アートプロジェクト 展示とプレゼンテーション



現代の鳥獣戯画 展示とプレゼンテーション

2025年2月7日、当館第2展示室において、玉川学園11年生（高校2年生）が描いた、現代の鳥獣戯画の展示とプレゼンテーションを実施しました。これは、玉川学園高等部美術科非常勤講師の秋本瑠理子氏による「現代の鳥獣戯画アートプロジェクト」の一環として、「クリエイティブアーツ（CA）」の授業を履修する11年生が、京都高山寺の国宝鳥獣人物戯画の鑑賞から着想を得て、自分たちの日常や問題意識、世界観、夢などを、和紙に墨で描く古典技法を用いて自由に表現したものです。絵巻物に仕立てられた作品を前に、各自が絵のコンセプトを発表し、互いに感想などを語り合いました。

通信教育課程博物館実習

2025年2月11日から16日まで、本学教育学部教育学科通信教育課程の学芸員スクーリングが開講され、当館で博物館実習をおこないました。当館の学芸担当教員と博物館・文化財関係の業務に携わる非常勤講師の先生方の指導のもと、計54名が4組に分かれ、さまざまな内容の実習に取り組みました。



美術資料（掛軸）の取り扱い

統計（2024年4月～9月）

開館日数 113日 入館者数 975名

収集

〔資料〕	教育	6件
	芸術	2件
〔図書〕	和書 150冊	洋書 0冊
	〔定期刊行物〕	和雑誌 24冊
	洋雑誌	6冊

資料をご寄贈いただきました（敬称略 2024年9月～2025年2月）

高橋 史郎	教育資料	5点	前田 均	教育資料	23点
関 佳史	芸術資料	8点	郡司 潔	芸術資料	3点
桑原 康行	学園史資料	2点	沓掛 伸二	芸術資料	2点
稲葉 春子	学園史資料	2点	ありがとうございました		

2025年度上半期 開館カレンダー

2025年4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

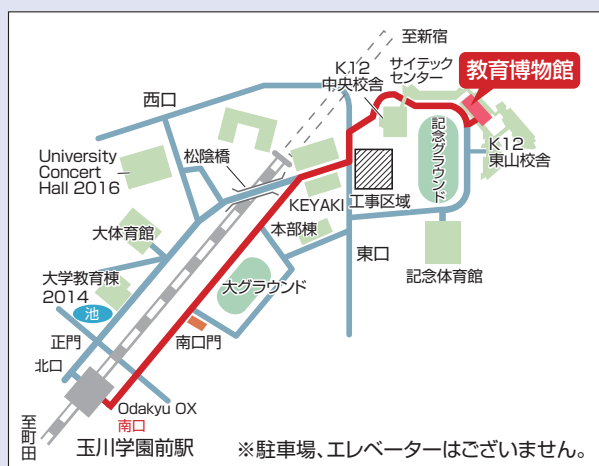


休館日



第1展示室(日本教育史常設展示)のみ公開

※ この予定は、大学授業・行事日程、社会情勢等により変更することがあります。
詳細は当館ホームページをご覧ください、電話等にてお問い合わせください。



交通手段

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩 15 分
※ 駅南口から線路沿いの道を新宿方向に進むと、玉川学園の校門（南口）に行き当たります。博物館にお越しの際は、校門の案内所にて入校手続きをお願いします。
(来館者用駐車場はありません。お車での来館はご遠慮ください)

利用案内

開館時間 午前 9 時～午後 5 時
(入館は午後 4 時 30 分まで)
休 館 日 日曜・土曜・祝休日・玉川大学の定める休日・展示替期間等
(詳細は当館ホームページをご覧ください)
入 館 料 無料

博物館ニュース SHŪ No.64

2025 年 3 月 20 日

編集・発行 玉川大学教育博物館

〒 194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

TEL 042-739-8656 FAX 042-739-8654

www.tamagawa.jp/campus/institutions/museum/

『SHŪ』は、漢字で『集』とあらわします。
博物館に「集」められたさまざまなものをめぐり、多くの人々の「集いの場」になるようにと願って名づけました。